

中国景德镇市への派遣事業 報告書

学校名： 瀬戸工科高等学校

本事業への参加を希望した理由・きっかけ

外国が好きで国際系に興味があると知っていた担任の先生が、これがあるよと教えてくださったのがきっかけです。中国には、父も行っていたり、好きなゲームの本社があるなど個人的にどんなところか気になっていたのに参加しました。

実際に訪問して学んだこと、得たこと、感想など

私は、昔から自動車や鉄道に興味があるので今回そこに着目してみました。行ってみると日本と全然違い、バイクが主流で自転車が少ないことが分かりました。またナンバープレートもヨーロッパのようになっていました。バイク用のひさしがあったりした。

日本もひさしがあったらいいなと思いました。

食べ物も大体が香辛料の強い料理ばかりで口に残る感じでしたがどれも美味しかったです。特に菜っ葉のニンニク炒めが美味しかったです。

です！(^)！初めて食べた料理ばかりでした。今回でできた友達に、『見ていて気持ちのいい[食べっぷり]』と言われてとても嬉しかったです。



全てが独特で新しかったです。ヨーグルトもストロー刺して飲んだり（カップなのに）取り皿の上にご飯茶碗を置いていたりしていました。



※不足する場合は裏面に書いてください

陶磁器生産の元祖のところに行きました。今は陶磁器生産をしていないそうです。この近くに高嶺山（kaolin）があり、そこで出土した白っぽい土を使って陶磁器を景德鎮で作ったのが始まりだそうです。白っぽい土（カオリナイトという鉱物から取れるもの）屋台がたくさんあったり、絵を描いている人たち（大学生ばい）、川遊びしている人たちがいて『おお〜』となっていました。



景德鎮市を最初に治めた王様の物や生活の跡が見える展示物を観ました。最初に即位した王様の名前は『りゅうか』さまというそうで、若くして即位し 34 歳で亡くなったそうです。戦争の兵士とかの遺骨からメロンの種が発見されました。これはりゅうか様が甘いもの好きだったということが分かります。（当時とても金持ちだったから、甘いものが手に入った）金持ち具合は展示物からも分かりました。480 万枚以上の青銅のお金が発掘されていたり、全て本物の金で作られていたコインが展示されていました。↓



最後に国内線（行き）の飛行機に乗っていて個人的に衝撃的だったことを書きます。雑誌があったので写真や漢字のところを見つつ楽しんでいたら、ある写真が目につきました。漫画の神様の手塚先生と中国の有名な方（多分）との写真です。これを見たとき、『ええ！？手塚先生と交流あったの！？』と驚きました。手塚先生は私の尊敬している人物なのでこの情報を知れて良かったです（^▽^）まだ翻訳できていなくて内容が明確に分からないのでこれから読み進めていこうと思います。



今回、盛り沢山の 1 週間でした。
貴重な体験ばかりで楽しかったです。
まだまだここに書けてないことが沢山あります。自由すぎだったと思いますが
お世話になりました。
本当に有難うございました。